

## センターサポート(OT・PT)

・重度重複障がい (肢体不自由・知的障がい)

1～2学期

【身体面】短下肢装具着用。車椅子移動が基本。座位(わり座)が可能。股関節内転筋、両膝の硬さが見られ、座位や立位時に身体の傾きが見られる。特に肘より先の刺激が苦手である。

【認知面】自発的な探索活動が少なく、受け身である。積極的に自分の気持ちを表出することが少ない。

### ▶相談内容

●座位や立位時に傾きが見られます。わり座では座っていることができますが、体幹が安定せず、隣からゆっくり押しとそのまま倒れてしまうこともあります。また、腕を触ると両手を引っ込めてしまいます。



### ▶アドバイス



#### 【OT】

○前から腕を掴もうとすると嫌がるので、隣に立って後方から肘を両手で前に押し出すように手を伸ばしてあげてください。



#### 【PT】

○あぐら座位をするときには重心がわかるようにアプローチしてあげてください。  
○訓練では膝を伸ばす練習を取り入れています。

### ▶教材・指導の工夫

・両腕でも片腕でも、伸ばしてほしいときは教員が正面から腕を掴みにいくのではなく、声をかけながら両手の掌で生徒の肘を包むようにしながら腕を前に押し出す。

・あぐら座位をとるときには、後ろに傾いて重心が定まっていないのでできない。そのため、教員が生徒の体がまっすぐ安定するように後ろから抱えるように座り支援する。

・毎日の体操時に膝にやや圧をかけながら伸ばす練習をする。

◎後方から肘を介助するように腕を伸ばすと、すんなりと前に腕を差し出すことができた。  
◎あぐら座位が成功していくと、脚を前に伸ばした状態での座位を一人でとれることが多くなった。



オーシャン  
スイング

